

幸せの芽を  
育てよう  
カルシウムとミネラルを **たっぷり**吸収できたか  
ら  
生きた味・品質が語る

美味しい **米つくり** は、カルシウム栄養が決め手

水稻の葉を厚く、茎を太く、株をガツリ張らせる！ 伸びすぎず、倒伏しない稲を作る！  
光合成を促進し、デンプン蓄積を増やす！ 穂がそろい、米粒が充実する！  
稔実歩合を向上させ、登熟を促進し、安定して 独特の **旨味のある お米** を作る決定版！



カルシウム栄養で、

作物は**健康**になり、**病気に強くなる**

**重く充実**して **腐敗しない**

**成熟して、旨い！** 美味しい作物を作ります

重く美味しい **ジャガイモ** は  
カルシウム栄養で

デンプンが詰まって、イモがズッシリ重く充実！  
肥大しても 空洞(ス)が無い！ 肌がキレイ！  
素晴らしく美味しいイモ！ ソーカ病対策にも！

ハウスの塩類集積の対策  
アルカリ性の堆肥の対策  
土壌pHを下げたい時に

…**酸性のカルシウム**を！

(製造元) 株式会社 カルテック

〒669-2341 兵庫県 篠山市 郡家 87-10 Tel. (079)554-2212

# カルテック Ca 粒状 (粉状)

[10kg詰め]

【内容】																		
原料	カルシウムとイオウ、ミネラル(微量元素)を含有する鉱物。 [製造・調整工程で、永年の経験と独自の研究を活かした工夫を加え、グレードアップしてあります]																	
成分分析例	主成分…二水・硫酸カルシウム $\text{CaSO}_4 \cdot 2\text{H}_2\text{O}$ 約85% (Ca:35%, $\text{SO}_4$ :47%)																	
	<table border="1"> <tr> <td>ケイ酸</td> <td><math>\text{Si}_2\text{O}</math></td> <td>2.7%</td> <td>亜鉛</td> <td>Zn</td> <td>0.2%</td> </tr> <tr> <td>マグネシウム</td> <td>MgO</td> <td>1.2%</td> <td>鉄</td> <td>Fe</td> <td>0.3%</td> </tr> <tr> <td>ホウ素</td> <td>B</td> <td>0.3%</td> <td>マンガン</td> <td>Mn</td> <td>0.2%</td> </tr> </table> <p>・有害な重金属は含みません。 ・顕著な速効がありますが、植物ホルモンの添加等は、一切していません。</p>	ケイ酸	$\text{Si}_2\text{O}$	2.7%	亜鉛	Zn	0.2%	マグネシウム	MgO	1.2%	鉄	Fe	0.3%	ホウ素	B	0.3%	マンガン	Mn
ケイ酸	$\text{Si}_2\text{O}$	2.7%	亜鉛	Zn	0.2%													
マグネシウム	MgO	1.2%	鉄	Fe	0.3%													
ホウ素	B	0.3%	マンガン	Mn	0.2%													
性質	<p>①<b>水溶性</b>……一般の「石灰」がほとんど水に溶けない(0.015g/リットル)のに対し、約170倍の溶解度(2.6g/リットル)をもち、確実に溶けます。また過燐酸石灰や骨粉のように土壤中で難溶化する事もなく、リン酸過剰にもせず、土壤溶液のカルシウムとミネラル濃度を適度に高く維持し、作物に栄養として供給します。</p> <p>②<b>酸性</b>……原体pH:約3と強い酸性です。アルカリ性の「石灰」と違って 土壤を酸性に保ちつつカルシウム栄養とミネラルを供給する、独特の『<b>酸性のカルシウム</b>』栄養資材です。</p> <p>③<b>微生物の増殖促進</b>…通常の「石灰」が微生物を殺菌し 土を固くするのに対して、土壤微生物群の繁殖を促がし、団粒構造化を進め、ふかふかと軟らかく、豊かな土壤を作ります。</p>																	

カルシウム栄養で 確実に美味しい収穫!  
耐病性、稔実の向上、着色・成熟を促進!  
特に旨味を大事にするなら、コレです!

## 【水稻への効果的な使用時期】 どの時期かに施して下さい

時期	施用量	効果
育苗	育苗箱1枚当り 20g	予め床土に混ぜておくか、硬化期に散布して灌水します。徒長せず、ガッチリ充実した健苗作り。(ムレ苗・苗立枯れ対策も)
初期	土作り時	土壤全体にカルシウムを補給し、稲にじっくりと効かせます。
	元肥時	初期から健康な体質となり、ガッチリ張った株を作ります。
	初期の追肥	田植え後7~15日(出穂65日前まで)…太い茎、倒伏防止。
追肥	出穂45日前	チッソ過多を抑制し、茎を太くし、穂首分化を確実に揃えます。
	出穂10日前	<b>食味向上、登熟促進のためのカルシウム栄養供給。</b>
	その他、適宜	葉色が濃すぎる(チッソ過多)の場合、これを抑えて、健全化します。

## 【畑作の効果的な使い方】 (10アール当り) [他にも、さまざまな使い方があります]

作物	施用方法	効果
ジャガイモ	元肥時に (40kg~) 60kg	イモの肥大・重量増加。空洞(ス入り)がなく、デンプン価の高い美味しいイモを作ります。酸性なので ソーカ病も抑えます。
茶	(秋)元肥時に 40kg	根へのデンプン蓄積・冬芽の充実を進め、一番茶の生長力をつけます。葉を厚くし、重量を増します。
栗	秋・春・実肥時 各20kg	果肉の重量増加・品質向上。樹勢維持。胴枯病の対策も。
高pH化した畑に	60kg程度 土壤pH0.5ほど低下	ハウスの塩類集積等で アルカリ性化した土壤では pHを下げ、ECも抑えながら、カルシウム栄養は シッカリ吸収させます。
高温分解でアルカリ性の堆肥に	(60kg程度)	pHの高い堆肥を畑に投入することは たいへん危険です。堆肥の質に注意し、pHを下げるように しましょう。

## 【使い方の注意】

- ①一般的な畑作では 土壤pHの酸性化を防ぐ事が大切ですから、通常は〈畑のカルシウム〉(弱アルカリ性)を使って下さい。ジャガイモなど、特に酸性が必要な作物だけに 〈カルテックCa粒状〉を使用します。
- ②一般の畑作で〈カルテックCa粒状〉を使う場合は、必ず栽培中に土壤pHと 根のpHを測定して決めます。土壤の過度な酸性化は、作物の生育を抑制しすぎたり、障害を起こす場合もあるので 注意して下さい。2つのカルシウムの使い分けで、土壤pHを自在にコントロール出来ます。
- ③『カルテックCa粒状』は チッソ等の肥料成分を ほとんど含んでいません。肥料は別に施して下さい。